

一橋大学 2021 年(前期) 日本史 講評

出題分析		
試験時間 120 分	配点 学部により異なる	大問数 3 題
分量 (昨年比較)〔減少 同程度 増加〕		難易度変化(昨年比較)〔易化 同程度 難化〕
<p>【全体講評】</p> <p>予想通り大問1は古代・中世がメインの出題であり、2019 年の大問 1 を彷彿とさせる問題であり、一部重複しているものもあった(調や荘官について)。また、大問2は従来通り近代からの出題で、過去に 2010 年に出題された「人口変動」の問題を彷彿させる問題が目立った。大問3については去年が近代までだったためか、戦後史がメインの出題であり、「男女雇用機会均等法」という比較的現在に近い世代の問題が出題された。全体としては一橋らしい問題と一橋らしくない問題が混在しており、自身の解答が果たして的確を得ているのか手ごたえがあまり感じられない受験生も多いのではないかと感じる。しかし、まったく手も足も出ないというわけでは無かったと思うので、白紙で出すという状況には陥らずに済んだのではないかと感じる。今年は過去問からの類題が非常に多かったのでもっと自分のものでできていた受験生は高得点が望めそうなセットであると考えられる。去年に出題された絵の読み取りの問題については今年は無かった。</p>		

設問別講評			
問題	出題分野・テーマ	設問内容・解答のポイント	難易度
I	<p>律令体制下で中央政府へ納められた税／開発領主の地位の変化／室町幕府の財政／分地制限令の内容と目的</p>	<p>問 1(標準)…中央政府へ納められた税目は「調・庸」。「特産物などの調や布などの庸は、計帳に基づいて成年男子を対象として賦課され、郡司の下、戸ごとにまとめて徴収され、人民の運脚により納入された」と書けばよい。過程を聞いているため、運脚だけでなく郡司にも言及したい。問 2(やや難)…2019 年の大問 1 の悪夢を彷彿とさせる荘園公領制の問題。特に一橋受験生は荘園公領制にアレルギー反応を起こす人が多いと思うし、まさか再び出るとは思っておらずこの分野を放棄していた受験生も多かったのではないかと感じる。ただ、条件がかなり絞られているので、何とか書けたか。「開発領主は後に在庁官人となって国衙の行政に進出し、そして所領を中央の権力者に寄進して荘官に任じられ、私的支配を加速化させた」ことを書けばよい。問 3(標準)…室町幕府の財政事情は典型問題には入るだろうが、しっかりと中世に本腰を入れて勉強しないと意外と書けない人も多いかと思う。商工業の発達する京都に位置した室町幕府は、土倉など高利貸し業者への営業税である土倉役や酒屋に課した営業税である酒屋役などを重要な財源とした。また、ここでは「貨幣経済の浸透」「京都の支配」に重きを置いた税目が問われているため、関銭・津料や抽分銭は加算対象にはならないと思われる。問 4(標準)…空欄に入る語句は「分地制限令」。分地制限令については 1994 年に過去問で既出。過去問研究を怠らなかつた受験生は書けたと思う。「農地を分割相続することを禁止した法令であり、石高制に基づき本百姓からの年貢を経済基盤とする幕府が分割相続による本百姓の零細化・没落を防いで、本百姓体制の維持を図ったもの」と書けば十分。ただ、1673 年から分地制限令が想起できないと厳しい。</p>	標準

<p style="text-align: center;">II</p>	<p>江戸幕府崩壊後の東京人口減少／都市下層社会についての著書と作者 2 例／20 年代から 30 年代の東京府の郊外人口増加の理由／1940 年から 1955 年までの東京府(都)人口の増減の理由</p>	<p>問 1 (標準) …江戸幕府崩壊後に東京の人口が急減した理由として重要なのは「参勤交代の消滅」と「身分制の崩壊」。江戸時代の江戸が巨大都市になった理由はともに 2012 年に過去問でも問かれ、その際は参勤交代により將軍のお膝元であった江戸に家臣が集住しており、各大名の藩邸なども存在したことが大きな要因であった。今回はそれとは真逆の減少を問うており、江戸幕府崩壊により参勤交代を行う必要がなくなったばかりでなく、身分制も解体されて旧武士階級が離れたことなどを簡潔に書けばよい。問 2 (標準) …予想模試②の大問 2 の問 4 が的中「日本之下層社会(横山源之助)」「最暗黒の東京(松原若五郎)」。問 3 (難) …今年の日本史で最も難しい設問。人口変動の問題は過去問にも多数あり、一橋らしいが、20 年代から 30 年代の東京の人口および「郊外」の人口の急増については類題も無く、特に郊外については答えにくい難問であると感ずる。20 年代から 30 年代とあるので、第一次世界大戦による都市大衆化による人口集中や鉄道の普及による郊外への人口移動についても言及しても良いと思う。また昭和恐慌の際の失業者の帰村も郊外人口の要因となるか。30 年代後半に聞かしては、過去問にあるように、日中戦争勃発に伴う重化学工業や軍需工場への徴用に言及すればよいと思うが、郊外については悩ましい。問 4 (やや難) …本格的な社会経済史。①戦前までの急減、②戦後以降の急増とするとわかりやすい。①については 2010 年の過去問に類題あり。軍隊動員による内地人口減少や空襲の激化を背景とした軍需工場移転・疎開による人口移動である。②については、戦後復興期の復興および高度成長の始まりに伴う人口集中や農村からの若年労働者の流入を挙げればよい。問 3 で思うように書けなくても問 4 でなんとか字数を埋められれば良かったと思う。</p>	<p style="text-align: center;">やや難</p>
<p style="text-align: center;">III</p>	<p>空欄補充(①15 ②新婦人協会 ③治安警察法 ④社会党)／「新しい女」の意味／労働組合結成奨励の背景／男女雇用機会均等法の背景となった国連の動き</p>	<p>戦後史がメインではあるが、一部近代が混ざる稀な問題構成。問 1 (やや易) …空欄補充。① 1 5 ②新婦人協会③治安警察法④社会党。④の社会党は難問。書けなくても問題ない。問 2 (やや難) …「青鞥」の人々が主張した「新しい女」の意味。類題も無く、あらかじめ知らないと書きにくい。社会進出が進んだものの制限が非常に大きかった戦前の女性像のイメージを想起できれば、「青鞥」の人々の主張についても何となくは書けたと思う。「従来の良妻賢母主義を否定し、封建的で古い因習から自己を解放し、自由で自立的な生き方をしようとする女性」を表す言葉。問 3 (やや易) …GHQ が労働組合結成を奨励した理由は、ポツダム宣言なども背景として、GHQ が敗戦後の日本の民主化政策を推進していたから。そのために五大改革指令なども出されていた。簡潔に書けばよいと思う。問 4 (やや難) …ほとんどの受験生が予期していなかったであろう設問。共通テストの倫理・政経選択に有利な問題。法律名は男女雇用機会均等法であり、背景として 1979 年に国連総会で「女子(女性)差別撤廃条約」が採択されたことに述べればよい。ただ、日本史選択に問うのは酷だと思う。大問全体を通して 400 字を書くには少しつらかったと思うため 320 字まで埋められれば大丈夫だと思う。書きやすい問 3 で何とか字数を稼ぐしかなかったと思われる。</p>	<p style="text-align: center;">標準</p>